

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和8年1月6日12時00分
大 阪 管 区 気 象 台

令和8年1月6日10時18分頃の島根県東部の地震について

令和8年1月6日10時18分頃に発生した島根県東部を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

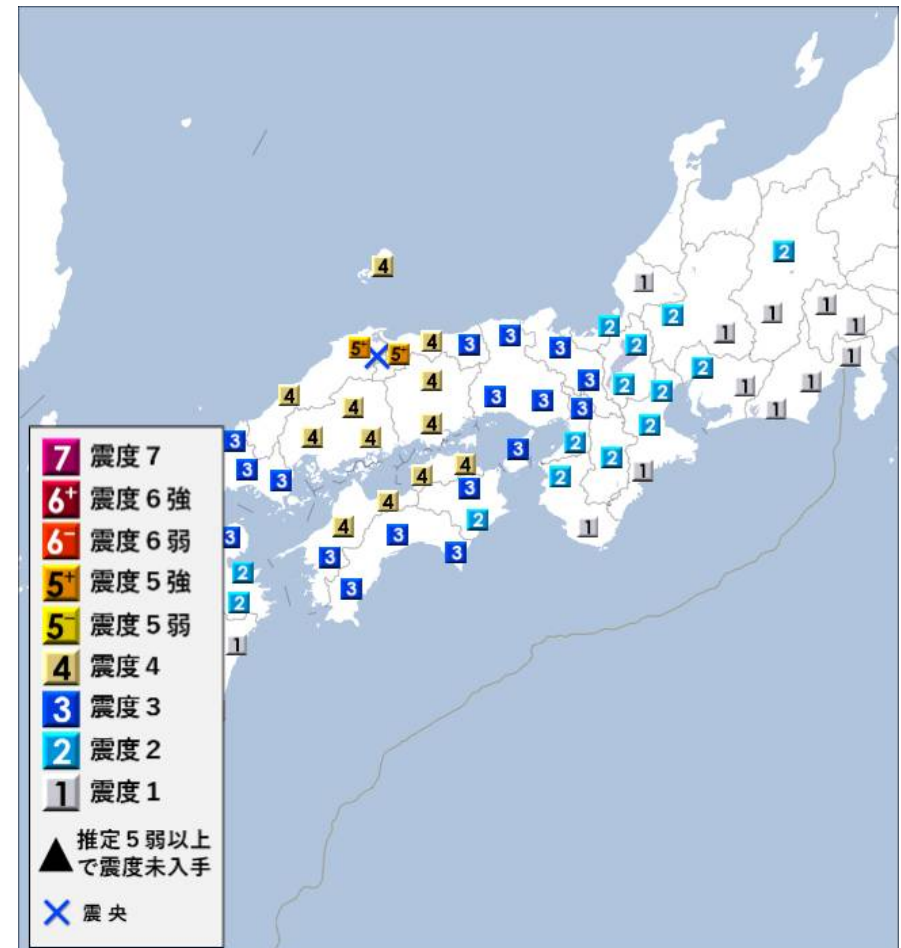
本件に関する問い合わせ先 大阪管区気象台 気象防災部 地震火山課
電話 06-6949-6307

震度5強を観測

震度5強 鳥取県 島根県

(揺れの強かった地域)
落石や崖崩れなどの危険
今後の地震や雨に十分注意
※1週間程度(特に今後2～3日の間)
最大震度5強程度の地震に注意
過去に続発事例あり。
さらに強い揺れの地震発生のおそれも。

1月6日10時24分発表



地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	1月6日10時18分頃
発生時刻 (地震が発生した時刻)	1月6日10時18分頃
マグニチュード	6.2(速報値)
発生場所	島根県東部 深さ約 10km
発震機構	西北西―東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型(速報)
震度	【最大震度5強】鳥取県の境港市(さかいみなとし)・日野町(ひのちょう)・江府町(こうふちょう)、島根県の松江市(まつえし)・安来市(やすぎし)、合計5つの市町村で震度5強を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度5弱～1を観測
地震活動の状況 6日10時50分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が5回発生(震度5弱: 1回 震度4:1回 震度3:1回 震度2:1回 震度1:1回)
長周期地震動の観測状況	鳥取県西部で長周期地震動階級4を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

この地震による津波の心配はありません。

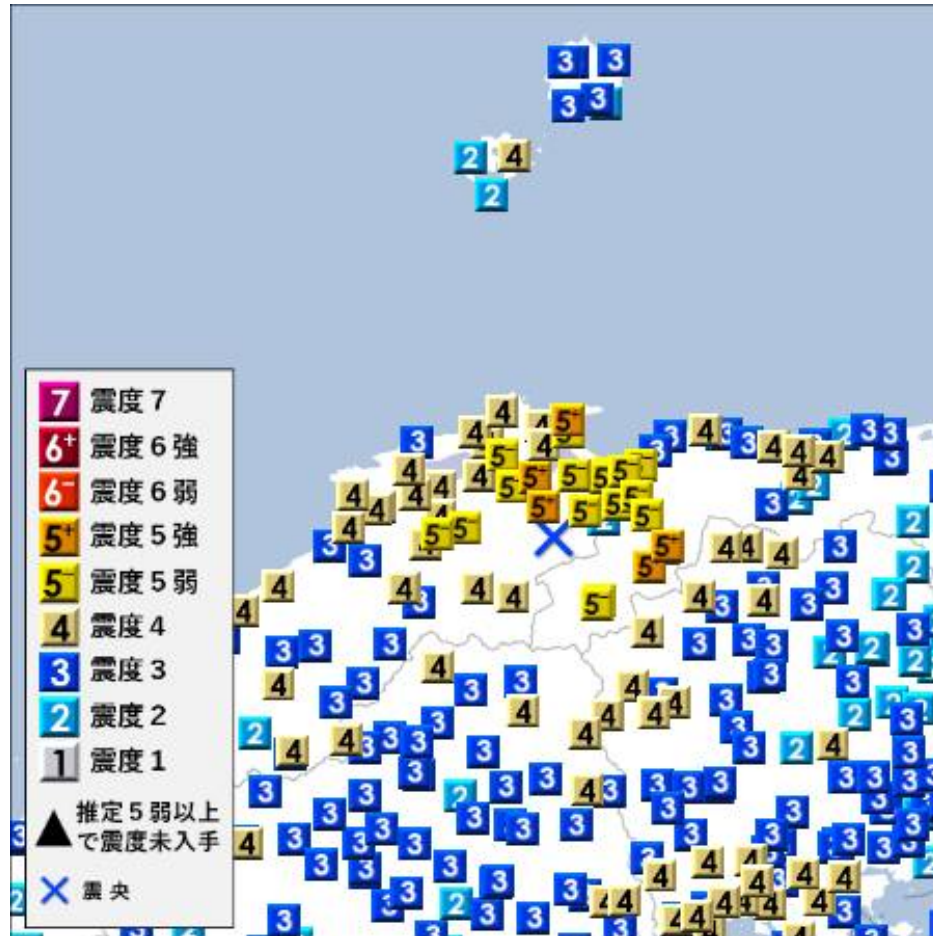
揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意してください。

(今後の地震活動の見通し)

この地域では過去に、大地震発生から1週間程度の間に同程度の地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5強程度の地震に注意するとともに、さらに強い揺れをもたらす地震が発生する可能性がありますので注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くあります。

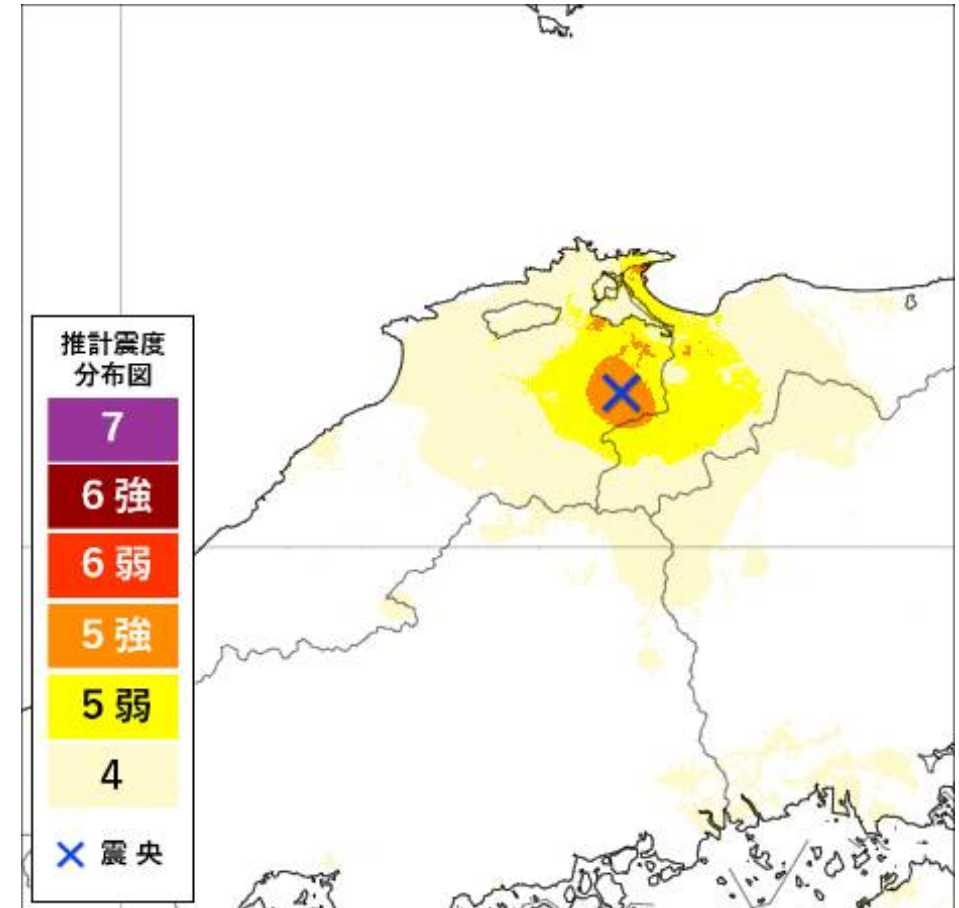
震度分布図・推計震度分布図

【各観測点の震度】



1月6日10時24分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

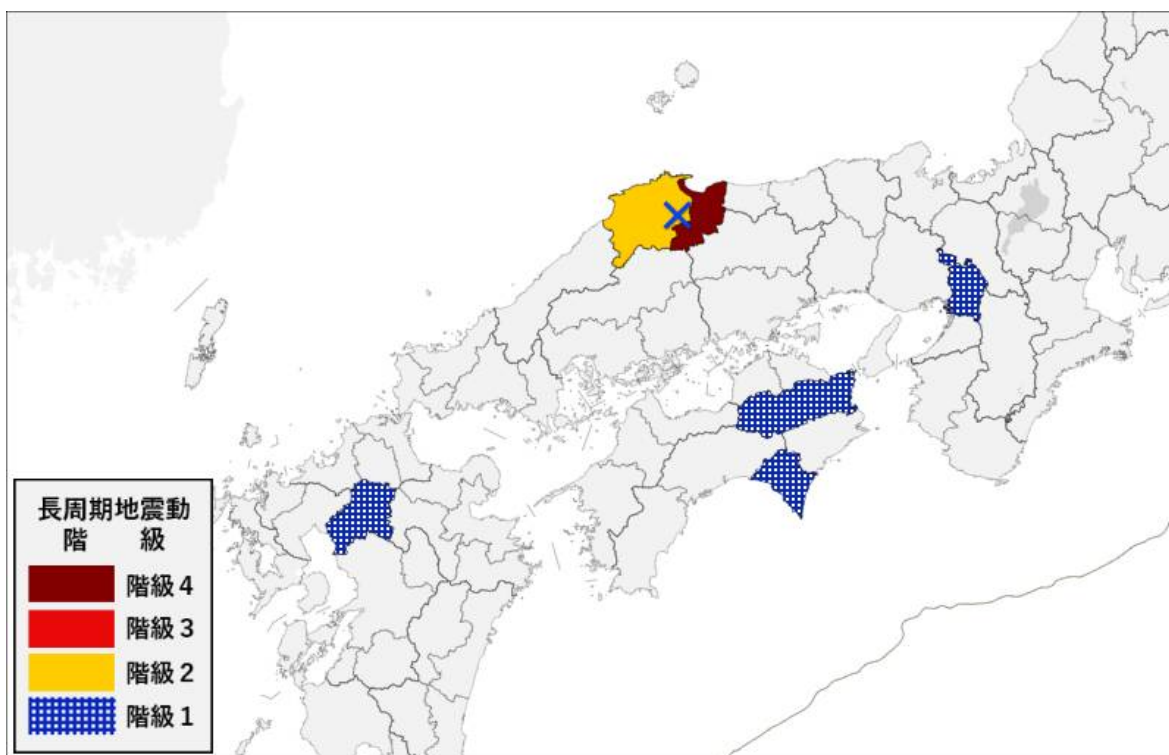
地震情報:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

推計震度分布図:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

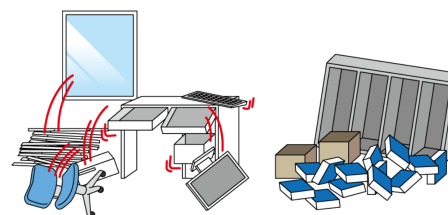
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称
階級4	鳥取県西部
階級2	島根県東部
階級1	大阪府北部 徳島県北部 高知県東部 福岡県筑後

1月6日10時29分発表



階級4



立っていることができない

階級3



立っていることが困難

階級2



物につかまりたいと感じる

階級1



ほとんどの人が揺れを感じる

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

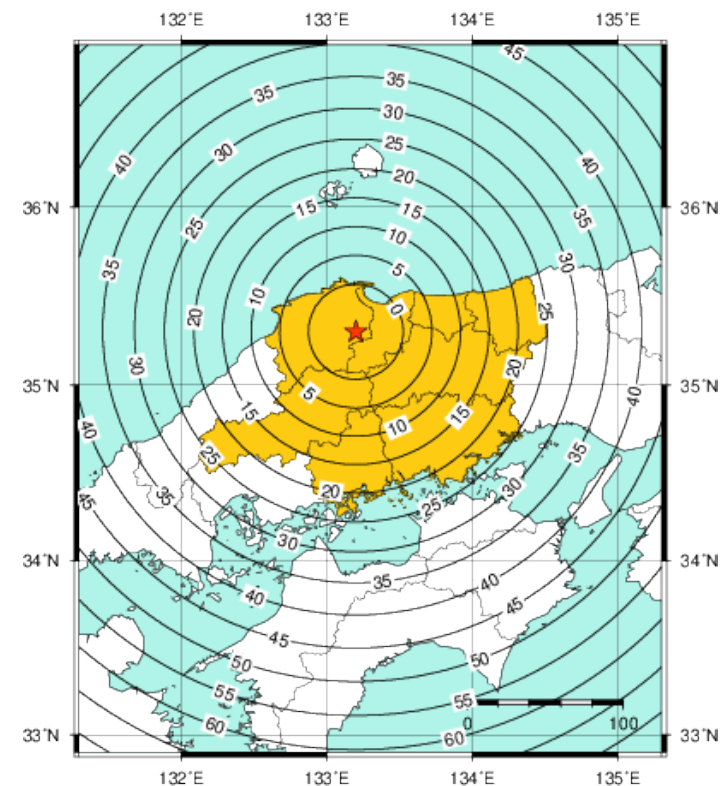
長周期地震動に関する観測情報:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過 時間 (秒)	震源要素					予測した 震度と階級
地震波 検知時刻	10時18分49.9秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第2報	10時18分55.4秒	5.5	島根県東部	35.3	133.2	10km	5.8	※1
※1	震度5強程度	鳥取県西部						
	震度5弱程度	島根県東部						
	震度4程度	広島県北部、岡山県北部、鳥取県中部、広島県南東部、鳥取県東部						
	震度3から4程度	岡山県南部						
	長周期地震動階級3	鳥取県西部						

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



緊急地震速報（警報）を発表した地域 ★ 震源

発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

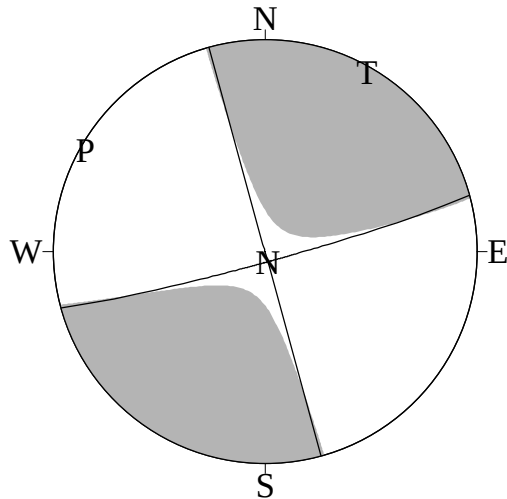
発震機構解

01061018

西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型

[CMT解(速報)]

Mw=5.7



下半球等積投影法で描画

P：圧力軸の方向

T：張力軸の方向

セントロイドの位置

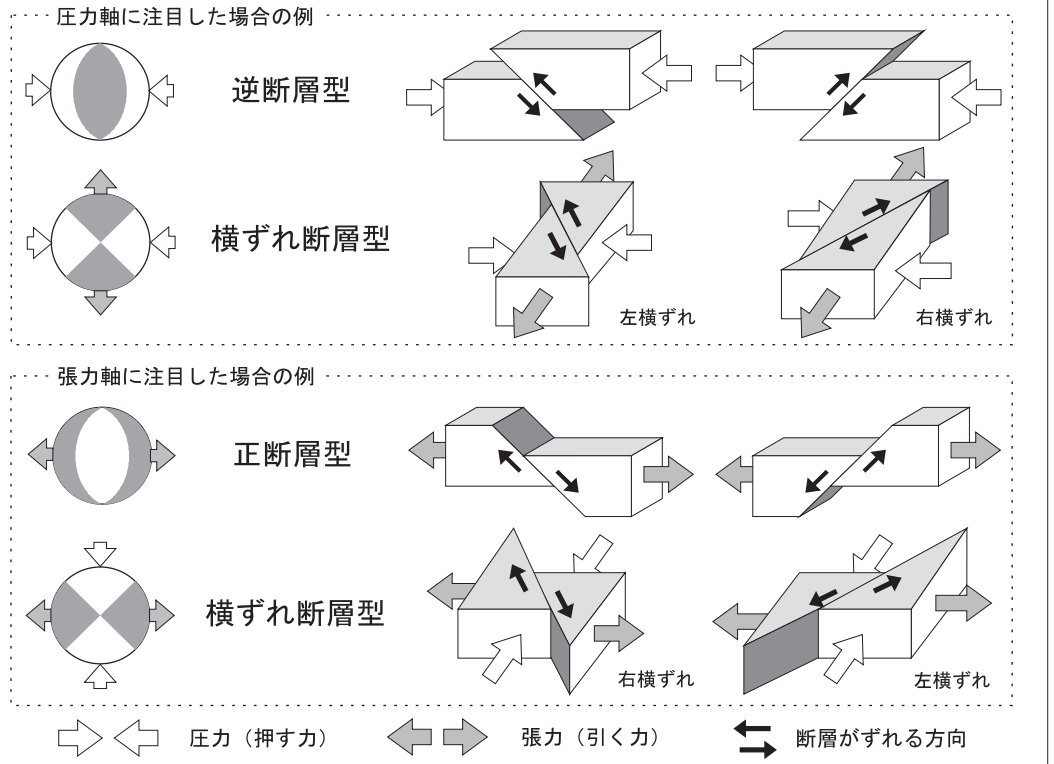
北緯 35度15分

東経 133度13分

深さ 約10km

※セントロイドの位置とは、
地震の断層運動を1点で
代表させた場合の位置。

発震機構解 [CMT解] について

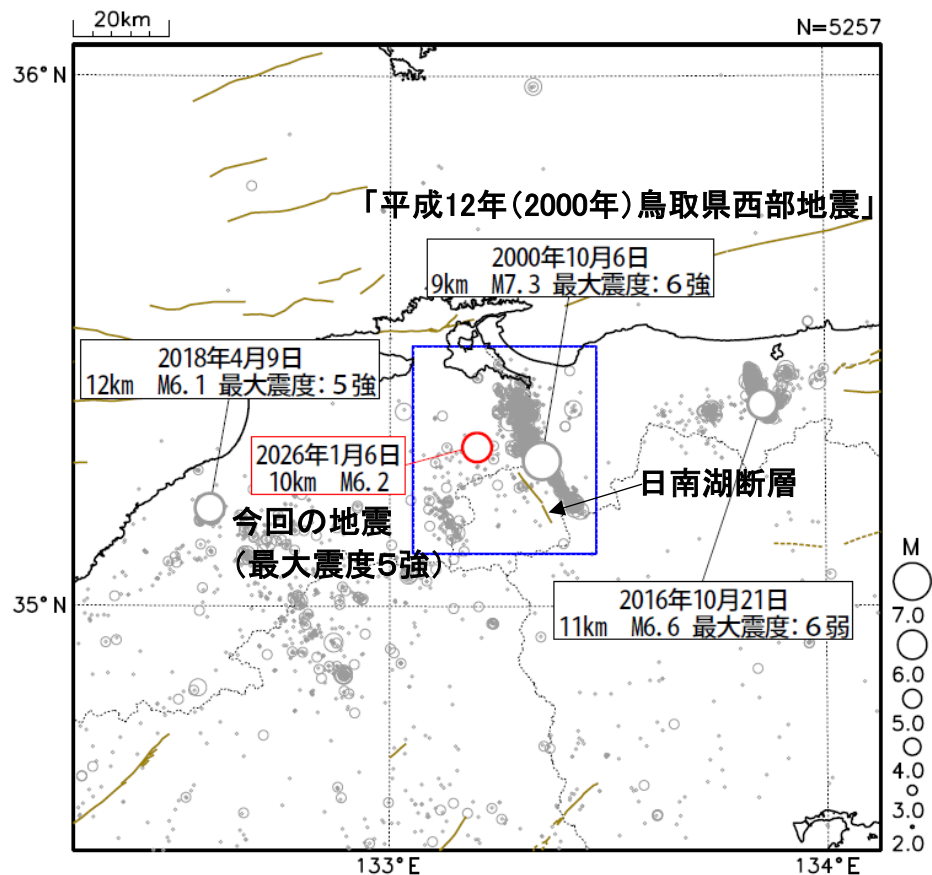


気象庁作成

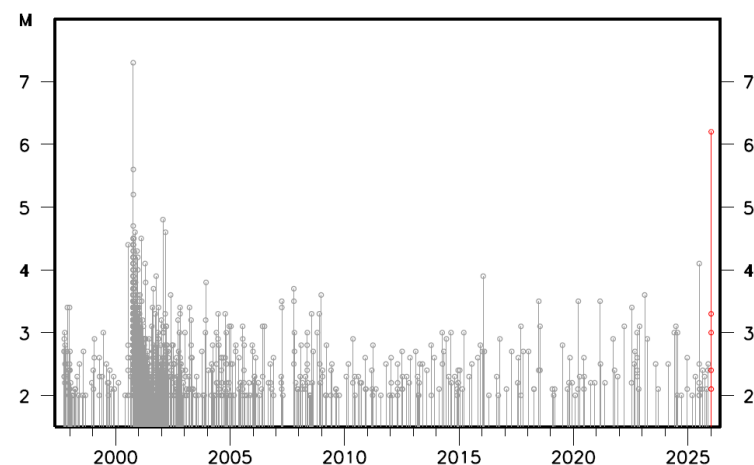
令和8年1月6日10時18分 島根県東部の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

(1997年10月1日～2026年1月6日10時19分、
深さ0～50km、M2.0以上)



左図の四角形領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

2026年1月1日以降の地震を赤く表示

丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

震央分布図中の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

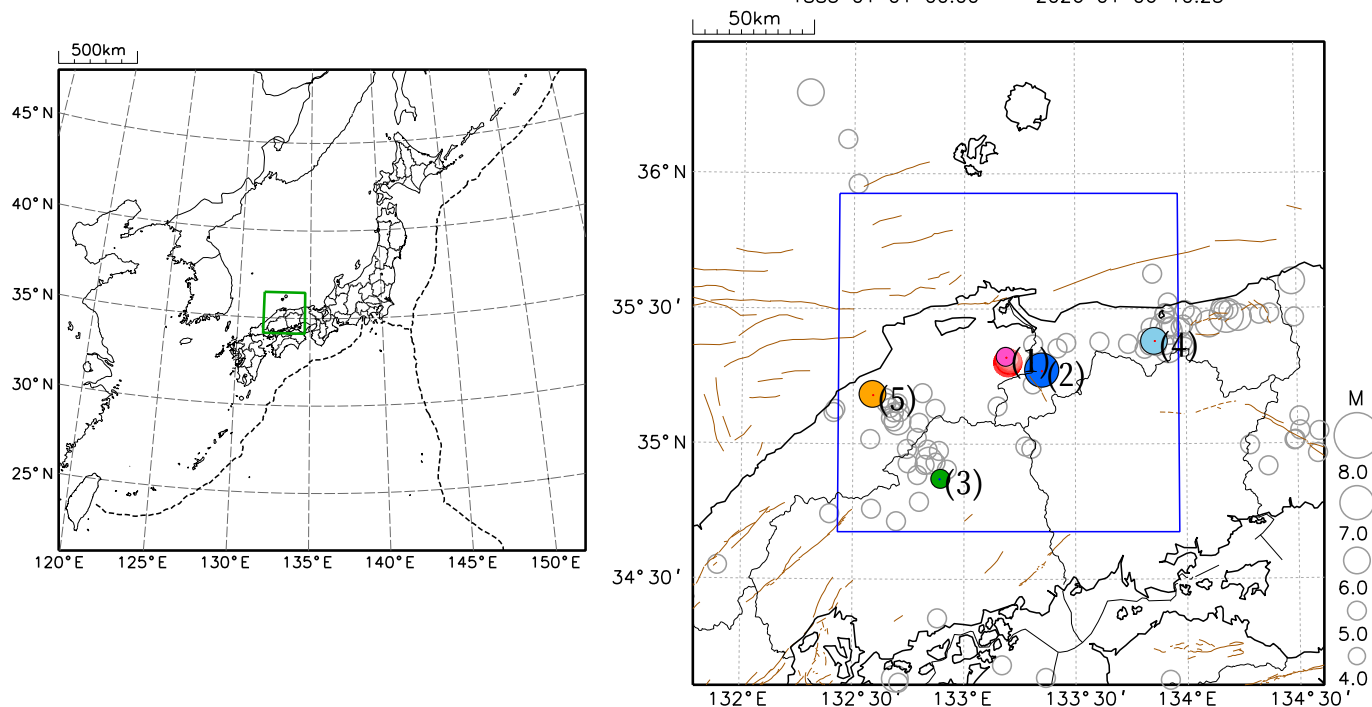
2026年1月5日以降のデータは速報値を含む

今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

M ≥ 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km
今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2026 01 06 10:23



- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。
- ・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

＜地震の名称について＞

- ・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
- ・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。
- ・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

＜資料の利用上の注意点＞

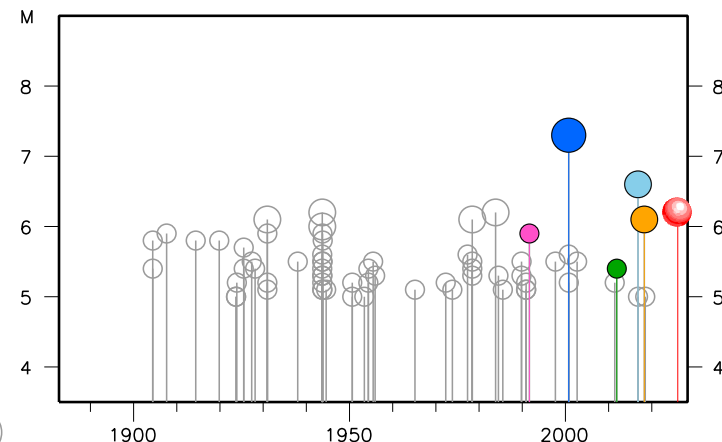
- ・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。
- ・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
- ・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（※）が異なる場合がある。

※検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃：(1)，青：(2)，緑：(3)，水：(4)，黄：(5)

(1) 1991年8月28日 M:5.9 島根県東部

(2) 2000年10月6日 M:7.3 鳥取県西部
「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」

(3) 2011年11月21日 M:5.4 広島県北部

(4) 2016年10月21日 M:6.6 鳥取県中部

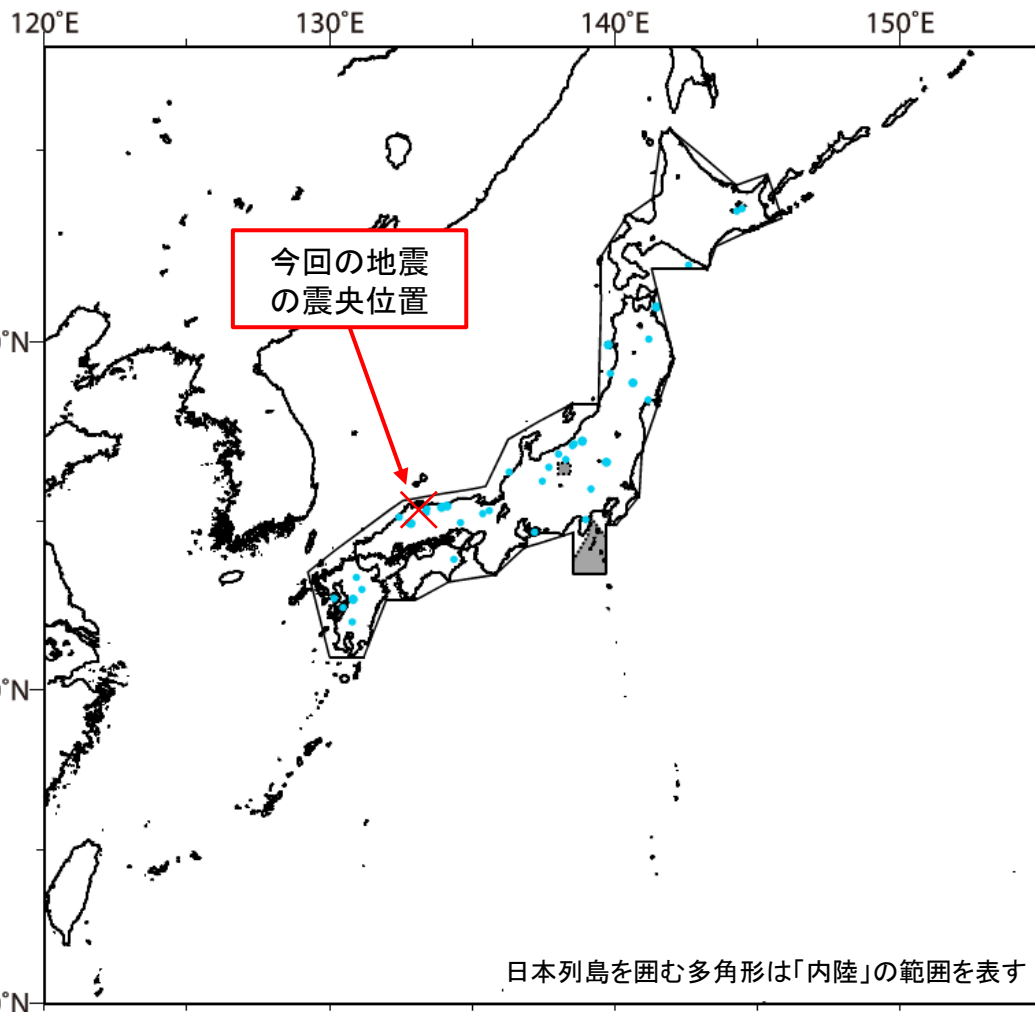
(5) 2018年4月9日 M:6.1 島根県西部

震源周辺における規模の近い地震の続発事例について

(参考資料)

大きな地震発生後に規模の近い地震が続発した過去の事例 (内陸地殻内)

1923年～2016年6月、内陸で発生した深さ0～30km、マグニチュード5.0以上、規模の差が0.5以内もしくは同規模以上の地震が発生した地震を●で表示



日本列島を囲む多角形は「内陸」の範囲を表す

規模が近い地震が続発した過去の事例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」報告書による。

■日本全国での過去の事例

内陸の浅い場所で発生した大きな地震の場合、過去には規模が近い地震が続発した事例があります(左図の●及び灰色の領域)。また、まれに、発生した大きな地震よりも、より規模の大きな地震が発生した事例もあります(563事例中、35事例で全体の6%)。

■今回の地震の周辺における過去の事例

今回の地震の周辺では、1990年に鳥取県西部で発生したM5.1の地震の1分後にM4.8の地震が、2.3日後にM5.2の地震が、10.4日後にM5.1の地震が発生した事例があります。

発表した情報などについて

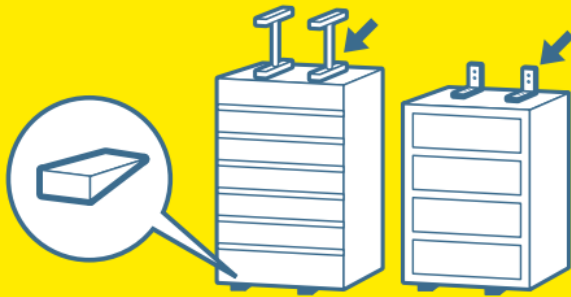
- 津波警報等の発表状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>
- 津波の観測状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>
- 潮位観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>
- 地震情報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>
- 緊急地震速報の発表状況
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>
- 震央分布
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>
- 津波予報区について
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/joho/tsunami-yohoku.html>
- 地震から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X(旧Twitter)
https://x.com/JMA_bousai



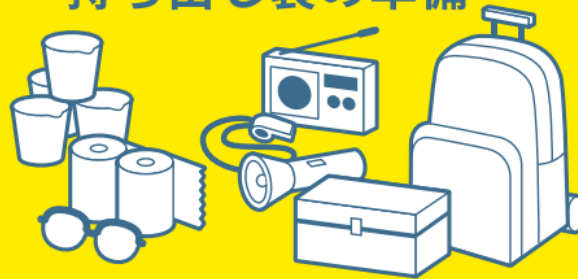
日頃からの地震への備え

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありませんので、日頃からの地震への備えを心がけてください。

□ 家具の固定



□ 非常用 持ち出し袋の準備



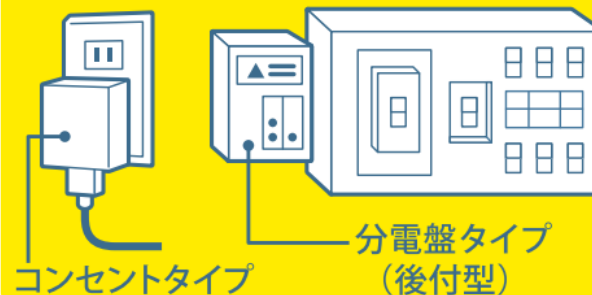
□ 水や食料の備蓄



□ 避難場所や 避難経路の確認



□ 感震ブレーカーの設置



□ 建物の耐震化



日頃からの備えについては、以下のページでもご確認ください。

地震から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin_bosai/index.html
津波から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html